

「同じ土俵に立ったら見えてきた子供たちの変化」

—世界に通じる力を育てる—NPO 法人「多言語広場 CELULAS のメルマガ」—第 59 号—

「子供のためはもちろん、私がやりたい！」と思って、この活動を始めて5年が経ちました。大人しく引っ込み思案だと思っていた娘に、気付いたら多言語力もプレゼン力も追い抜かれてる?! しみじみと感じる今日この頃です。セルラスの活動は、人とことばの環境を日常生活の中に豊かに作っていくことで初めて大きな威力を発揮します。お母さんやお父さんが、楽しく一緒に活動することが、子供の可能性をどれだけ広げるか、最近新メンバーの方の手記を読んで再認識しました。今回はその手記をご紹介します。

【目次】

《1》「同じ土俵に立ったら見えてきた子供たちの変化」東京都杉並区在住 水野さん (3児の母)

《2》 セルラス インフォメーション

《1》「同じ土俵に立ったら見えてきた子供たちの変化」

東京都杉並区在住 水野さん (3児の母)

【学校で良い子であれば正解なのか?】

セルラスのことは、子供が学校からもらってくるチラシで知りました。講演会では理事長の「学力の賞味期限」「思考・表現・判断力は全て教えられない、自分で見つけるもの」という話がとても印象的でした。自分は子供をどう見ているのか。いつも漠然と抱いていた、学校で「良い子」であれば正解なのか、もっと次元の違う何かが必要なのでは...という疑問。それを見つけないと思いません。

【体験会に行くのを拒否した子供たちが...】

私には子供が3人いますが、高校生の長男は部活で時間的に難しいので、小6の長女と、小2の二男を体験会に誘ってみました。しかし、「どんなとこなのか、早く行って見てみたい!」そんな気持ちにかられている私とは逆に「多言語」と聞いただけで「=勉強」と解釈した二人は「え〜」と拒否。

息子は、私たちについていだけだからとすぐに快諾してくれたのですが、一方娘の方は...

「私は英語もできないのに」「同じ年齢の子はいるの?」「一時間半も一体何をやるの?」

真面目な分、想像がハードルを上げてしまいネガティブな発言の連発です。娘がこうになってしまうのはよくある事。私もそこで諦めても良かったのですが、やらないうちに娘が自身で作ら上げた恐怖で終わらせてしまうのか、この一歩を踏み出すか否かが大事なポイントなのではと思い、

「とにかく見てみようよ、嫌なら帰ろう」と言って何とか参加するまでに至ったのでした。

しかし、蓋を開けてみると、このように私が張り切って子供たちをリードしたのは体験会に行くまででした。ピアザの体験会では、初めてのロールプレイにドギマギしている私とは正反対に子供たちは温かい雰囲気ですぐに慣れ、帰りの駐輪場では「ロールプレイ、少しできたよ!!」(娘)

「ゲームが楽しかった!」(息子)と大興奮。「…でも、お母さんはロールプレイは照れちゃったよ～」なんて言葉は全く聞き入れてくれず、子供たちに急かされるように入会したのです。

【親と一緒に活動したら、子供たちの変化が見えた!】

活動を始めて数か月が経ちましたが、息子はやる気がないのかな?と思いきや、急に挙手して発表したり、る時は、私の小言を聞いた後に、「クロントウショックナー、チャ〜ルアラツソ」

(そういうことだったんだ、よくわかった)とか、突然部屋に入ってきた父親に、「ケパソ、パパ?」(お父さん、何か用?)などふざけながらですが、ポロっと口から多言語が出て見て面白いです。

そして娘も、少しずつですが変わり始めています。

今も時々、ドキドキする場面に遭遇しているようですが、間違いや失敗だけを恐れていた頃とは違い、やらない後悔というものも選択肢に入ってきたように思えます。

ピアザでの発表や留学生のホームステイ受け入れ、青少年の準備会諸々…やるか否かで一度迷って、踏ん張ってやるほうを選択している。なかなかすごい事です。

そして何よりも私自身、今まで子供たちの勉強や習い事の数々を外から見てあれこれ上から目線で言ってきましたが、ピアザでは子供も大人も同じ土俵!

大人は、記憶力も耳の良さも子供にはかないません。

最近では、子供たちとの会話に、「すごいね」「へー知らなかった」などのキーワードが入っていて、自分でも驚く反面、とても気持ちが良いです。

【セルラスの魅力は人】

セルラスの魅力はやはり「人」だと思います。毎週ピアザで仲間に会って、短いながらも丸ごとその人の話を聞ける。

忙しい日常の人付き合いではありそうで中々ないことです。

特に私は子供たちの報告を聞くのが何よりも好きです。どの子も体験して感じて、自分で見つけたことを話している。

そして前とは違う自分がある。だから飾らず、骨太な話が多いです。

その場に居合わせられることがとても嬉しく、元気をもらってます。

大人の私も頑張らなくては…まずは多言語を一言でも多く話してみよう!と思う今日この頃です。

《2》 セルラス インフォメーション

◆多言語広場フェスティバルのご案内

セルラスでは12月に1年を締めくくる大イベント

「多言語広場フェスティバル」を行います。

ジュニアリーダーを中心に、青少年たちが企画から運営まで担当。

彼らが見つけているセルラスの「今」を楽しめるイベントにぜひ、参加しませんか? ご家族そろって参加できます。

お問い合わせ、お申し込みは各地域のコーディネーターまたはセルラス本部事務局(03-5333-8202)までご連絡ください。

▼関東

12月10日(日) 13:30~16:30 渋谷区地域交流センター恵比寿

▼関西

12月17日(日) 13:00~16:30 尼崎市女性センター・トレピエ

◆セルラスでは機関誌『CELULAS(セルラス)』を発行しています。
このメールマガジンと併せてセルラスの活動内容を楽しく紹介しています。

10月初旬に、第8号が発行されました。

この夏、アメリカや韓国にホームステイしたきた子どもたちの体験や
青少年サマーキャンプ、そして、10カ月の留学を終えて帰国した
2人の高校生の手記も掲載された特大号です。

ホームページでもご覧になれますので、ぜひご一読ください。

⇒ <http://www.celulas.or.jp/kikannshi.html>

このメールマガジンは、セルラスの会員をはじめ、これまでセルラスが開催した
講演会、セミナーに参加されるなど、

私たちの活動にご興味を寄せいただいた皆さんにお送りしています。

セルラスの多言語活動や異文化体験、楽しい交流の様子などを、
より多くの皆さんに知っていただくために発行しています。

日頃の私たちの活動やご家族で参加していただけるイベントや講演会などの
お知らせを、月2回の予定でお届けします。